

「夢気球だより」編集部 発行
〒610-0121
城陽市寺田西ノ口7-4西邦ビル2階
城陽市国際交流協会内
電話 0774-57-0713



ぱれつとJOYO委託事業 夢気球「国際サロン」

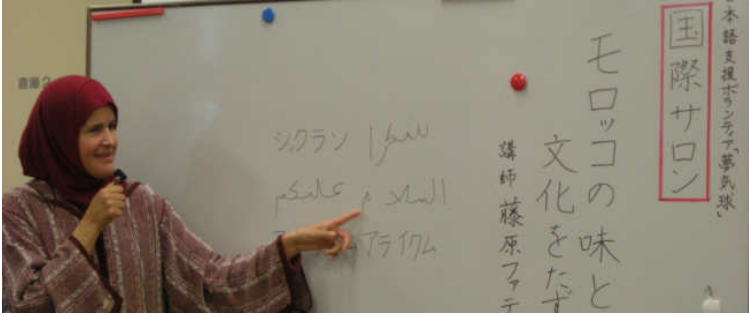
モロッコの食文化をとおしての異文化理解

国際サロンは、夢気球の活動の一つとして国際交流協会内で昨年から実施してきましたが、新たに、夢気球が男女共同参画支援センター「ぱれつとJOYO」と共催で11月25日(日)に実施しました。ぱれつとでは、すでに日本語教室を開講していますが、多文化共生社会の醸成をはかるため広く市民に提供できる機会と位置付けて、男女共同参画の視点から異文化理解を推進する事業として、今年度初めて企画委託されたものです。



モロッコに興味しんしん

夢気球の学習者で、城陽市在住のフアテイマさんから、出身国モロッコや日本での暮らしについてのお話を伺ったり、モロッコ料理を味わいながら国際理解を深めていくという事業で、広報は11月1日の「広報城陽」や「国際交流協会だより」9月号によるお知らせで、35名の方に、お申し込みを頂きました。当日都合により、定員の25名はオーバーする29名の方(内訳、学習者4、夢気球15、市民等9名)に、参加頂きました。



突然、アラビア語講座

担当の渋谷さんには、前日準備から当日の送迎も含めて、大変ご苦労頂きました。運営委員は、午前10時半に集合し、スクリーンやガスコンロ・食器などを確認し、テーブルは、モロッコの五つの都市名(カサブランカ・ラバト・マケラシュ・タンジェ・フェス)のグループに設置し、夢気球運営委員がサポートができるように、7名程度のなかに参加し、交流ははかれるよう工夫も行いました。11時30分から渋谷さんの司会で始まり、スクリーンにはテレビで取り上げられたモロッコの映像がながれたです。フアテイマさんからの自己紹介、各テーブルをまわっての料理紹介の時間を決めていただきました。フアテイマさんに、早朝から人数分以上に準備をして頂いた料理は鶏肉、人参、ジャガイモ・ブロッコリーなどの野菜を材料にした代表的なタジン鍋と牛肉・豆類をベースにしたスープや、手づくりのパンで、テーブルごとにガスコンロを設置して鍋

投稿先

nicityama0323
@gaia.eonet.ne.jp

の蒸し加減や味付け具合もどうかなど、今回初めての方からは「想像以上に美味しい」、「以前食べた方からは「塩加減がちがって美味しい」など、参加者からは、モロッコ料理に舌鼓しながら、各テーブルで和気あいあいと交流をはかっていたみました。食事の間には、フアテイマさんのかわいいお子さんお二人に、アラビア文字による挨拶の仕方や、村上さんのモロッコ紹介、本日参加者の自己紹介や感想、最後に、杉島代表から夢気球の活動意義などの話があり閉会しました。(阪部記)



ごちそうさまでした



美味しそう



タジン鍋、準備中

今年度、府教委から「学力向上フロンティア校」の指定を受けた府立城陽高校が社会人から登録者を募り「TAGバンク・どれ道学習」を設立しました。私も講師の一人として「働くこと、生きる」というテーマで、「赤面症」で自分の思いや考えを人前で話さなくて自信が持てなかつた小学生時代、精神的な弱さを克服したいと中学で始めた部活のテニス、高校一年になって高校国体京都府予選準決勝まで進んだこと、生徒会役員に立候補し全校生徒600人の前で選挙演説をした高校2年の春、自分の殻を脱いでいく挑戦は長年の赤面症を克服する力となり自信に繋が



高校生と

未来を創る者たちへ

—城陽高校TAGバンクに参加して—

TAGとは、Think(考える・知る) Act(行動する・対話する) Gain(身につける・獲得する)こと。城陽高校の生徒の成長を応援する保護者、卒業生、地域の方々と、高校生が働くことや、社会について対話を通じて城陽高校生が自ら考え行動する力を養う事を目的とした事業のことです。

外国人から見た防災訓練。寺田南小のグラウンドへ出発。私は外国人として、また中国語通訳として同行しました。中国語通訳としてのもこの様な防災訓練は初めてです。グラウンドに入ると、驚いたのは、すでに沢山な地域住民(約300人)が待機していたことです。私たち国際交流協会も一つグループとして参加。会場では一般の地域住民と

外国人から見た防災訓練

一緒に消防訓練、煙ハウ体験、起震車による震度体験、体験心肺蘇生法による消防が入らない時、伝言棒を使うなど、様々な体験が用意されていました。参加者の中で、一回目の方もいきました、経験者と言え、やはり実際に体験してみると、地震が起きた時の怖さが分かります。消火器を手にして簡単そうに見えましたが、栓を抜き



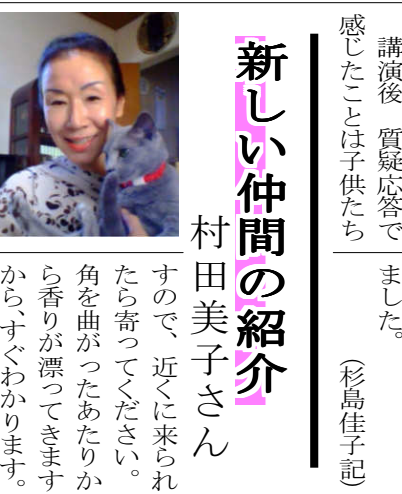
正しいリレーで

改めて防災訓練の重要性に気がつくことができました。狭い路地り、区自治会との連携が重要と大久保さんが何度も話していました。また日

知層はやがて自分のやり方、考え、と言う形で貴方だけのオンリーワンを個性を育ててくれます。貴方が見ること、知ることも、感じること、学校で学ぶこと、全てが夢を叶えるための全てが繋がっているように感じます。思考力の燃料となる知識や経験を多く身に付けて努力や読書の必要性を知ってもらいたいとアナログ世代の私は思いました。(杉島佳子記)

夢気球のメンバーの皆さんははじめてです。私は10月末からリクアンイン君の日本語支援を始めました村田美子と申します。城陽に住み始めて40年になりましたが、最近やと地域のことを考えるゆとりが生まれ始めました。遅まきながら少しでも役に立つことが出来ればと思っています。40年間、高校や大学の教壇に立ってきました。専門は英語、日本語教授法、異文化間コミュニケーションです。趣味はガーデニングと旅、それに大の猫好きです。下手ながらバラを有機農法で育てています。オールドローズで花屋に並ばない原種ばかりですが、とても良い香りがします。毎年5月にはオーブン・ガーデンをし

新しい仲間紹介。村田美子さん。角を曲がったあたりから香りが漂ってきますから、すぐわかります。猫は何代目か忘れませんが、子どもの頃か



村田美子さん